

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (30) 総合農協の強みを発揮した農家サポート
JAおきなわ（沖縄県）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	従来、農業生産者に対する窓口は信用部門、経済部門各々で対応してきました。農業者に対する支援を強化することを目的に、総合農協の強みを発揮させるよう信用部門と経済部門で連携した対応がとれる枠組を構築しました。
2 概要	平成 28 年 4 月より、信用部門の農業金融部と経済部門の担い手サポートセンターをワンフロア化し、日常的に情報交換をすることにより、農家に求められるサポートを金融・経済両面から実施する枠組を構築しました。 【取組事例】 金融取引のある農家・農業法人に対して以下の取組みを実施しました。 農産物加工製品にかかる原材料が不足していると情報を受け、JAが有するネットワークを活用して農産物の提供先を紹介しました。 働き手が不足しているとの情報を受け、JAが有するネットワークを活用して新たな働き手を紹介しました。
3 成果 (効果)	農家からは、JAならではのサポートと高い評価を得ています。
4 今後の予定 (課題)	今後も県内農業法人からの相談への対応及び非金融取引拡大に向け、情報共有の仕組みや事業間連携を強化し、支援してまいります。